

J E N E S Y S 2 . 0

College of Asia Pacific (日韓米国際共同教育プログラム)

「キャンパス日本」(招へい)

実施団体：九州大学 アジア太平洋未来研究センター

訪問日程 平成 26 年 8 月 22 日 (金) ~8 月 29 日 (金)

1. プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、韓国の大学生 70 名が 8 月 22 日から 29 日までの 7 泊 8 日の日程で日本を訪問し、各種のプログラムに参加しました。

日韓の延べ 6 つの大学が参加し、グローバル人材育成のための「国際体験型」プログラムとして実施されたこの事業は、特別講義やフィールドワーク、企業のインターン体験などで構成され、参加した両国の学生は政治・経済・文化などの多様な知識を得ると共に、体験の共有や意見交換を通じて理解を深めました。

2. 日程**8 月 22 日(金)**

到着(博多港(高速船利用))、鹿児島へ移動

8 月 23 日(土)

特別講義・フィールドワーク(鹿児島市内)

8 月 24 日(日)

フィールドワーク(鹿児島市内)、福岡市内へ移動

8 月 25 日(月)

特別講義

8 月 26 日(火)

インターンシップ体験(福岡市内)

8 月 27 日(水)

特別講義・フィールドワーク(福岡市内)

8 月 28 日(木)

日本文化体験・交流プログラム、送別会

8 月 29 日(金)

レポート作成、帰国(博多港(高速船利用))

3. 写真

	
招聘：8月23日特別講義①	招聘：8月25日特別講義②
(韓国語) 초빙：8월 23일 특별강의①	(韓国語) 초빙：8월 25일 특별강의②
	
招聘：8月25日特別講義③	招聘：8月25日特別講義④
(韓国語) 초빙：8월 25일 특별강의③	(韓国語) 초빙：8월 25일 특별강의④
	
招聘：8月27日特別講義⑤	招聘：8月28日特別講義⑥

(韓国語) 초빙 : 8 월 27 일 특별강의⑤

(韓国語) 초빙 : 8 월 28 일 특별강의⑥



招聘 : 8 月 2 3 日鹿児島フィールドワーク①

招聘 : 8 月 2 4 日鹿児島フィールドワーク②

(韓国語) 초빙 : 8 월 23 일 카고시마 필드워크①

(韓国語) 초빙 : 8 월 24 일 카고시마 필드워크②



招へい : 8 月 2 6 日インターンシップ

招聘 : 8 月 2 7 日福岡フィールドワーク

(韓国語) 초빙 : 8 월 26 일 인터쉽

(韓国語) 초빙 : 8 월 27 일 후쿠오카필드워크



招聘：8月28日文化体験

(韓国語) 초빙 : 8월 28일 문화체험



招聘：8月28日送別夕食会

(韓国語) 초빙 : 8월 28일 송별 회식

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○学生に関して

- ・優しさと親切さに驚いた。
- ・学生と交流することで日本の文化、生活様式、言語などについて知ることができた。
- ・少しの失敗でもすぐに謝り有難がる姿勢とどんな状況でも怒らず落ち着いて任された仕事を着実にまっとうする彼らに感動し学んだ。

○伝統、文化、自然に関して

- ・浴衣の着付け体験が印象的だった。
- ・文化体験では、直接専門家から学ぶことが出来、直接その場所へ行くなど印象的だった。

○人間性について

- ・常に日本の市民意識の高さに驚かされた。
- ・日本の国民性を韓国もみならったほうがいいと思った。

○その他

- ・プログラム初期はコミュニケーションが取れないことにもどかしさを感じたが、時間の経過とともに心を通わせお互いを気に掛けることができた。今振り返ってみるとこのプログラムを通じて、自分は大きな困難を克服したとおもう。
- ・日本政府は右傾化していて国民もその影響を受けているのかと思っていたが違った。そのため両国が単純な戦略的な関係ではなく、真の関係を形成できるという希望が見えた。
- ・両国の敏感な問題も、個人個人と対話してみると、十分に互いを理解し譲歩できそうな感じを受けた。
- ・学んできた歴史が違うことによって、互いに違う観点を持つにいたった過程を認識し、歴史を基にした韓日関係の改善のために、たくさんの対話と交流が必要だということを改めて学んだ。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・他の学生たちにも日本との絶え間ない交流の必要性を伝えたい。
- ・きれいな道路やバスの運転手の親切な態度など韓国とは違い過ぎる文化を伝えたい
- ・日本は食べ物も観光も沢山あるので、旅行するには良い所だと教えてあげたい。